



本間 雄次郎
(維新と無所属の会)



三島駅南口東街区再開発事業の事業費増および土地評価額

Q 9月8日の組合総会で決定された209億円から261億円という事業費増加を、三島市が事前に知ったのはいつか何う。

A 実施設計の進捗を踏まえ、徴収した見積りもりの結果が大幅な増加となったことを、5月上旬に伝えられた。事業推進上の影響が極めて大きいことから、工事費の圧縮を再開発組合で行い、調整後の工事費を踏まえ、今後の事業の進め方を改めて検討することとした。



Q 三島市が所有する市営三島駅南口駐車場部分の土地評価額が坪単価53万円という、根拠を何う。

A 再開発組合の鑑定では、再開発事業前の市所有地は近隣商業地域である一方、一般地権者の所有地は商業地域であることや、一般地権者の所有地と比較して地積が過大で競争性の観点から市場性が劣ること等が減価要因とされた。市独自の鑑定も同様であり、適正と判断する。



秋山 恭亮
(改革みしま)



経済的な理由による教育格差の是正

Q 三島市が行っている困窮世帯の通塾支援事業の拡大として、さまざまな教育活動に対する補助事業の取り組みへの考えを何う。

A 令和5年度中に把握・分析される子どもの生活実態調査で、困窮家庭の学習や習い事に関する実態を踏まえ、支援の必要性や次期計画への反映を考え、より良い手法や財源確保を研究し、貧困の連鎖防止に引き続き注力していく。



将来における空き家対策の共創方針

Q 三島市では官民連携の強化として共創方針を掲げている。共創による空き家対策として、将来、どのような取り組みがあるか。

A 令和5年度に実施する移住定住促進業務委託により得られる成果を展開させ、協力事業者を増やしていくとともに、民間事業者との共創により空き家の所有者や利活用者が相談できる体制を構築する。また、地域性に応じた空き家の利活用を促進させ、活力ある三島を目指していく。



岡田 美喜子
(新未来21)



ひきこもりなどへの常設の入口相談窓口の設置

Q 困り事によって担当課が異なることから、どこに相談してよいか分からないとの声がある。気軽に相談できる窓口を設置できないか。

A ひきこもり相談対応は、内容に応じて各課で行っているが、相談窓口としては、現在、三島市生活支援センターが大きな役割を果たしている。今後はZOOMによるオンライン相談にも対応できるような体制を整え、市民への周知を積極的に行っていく。

思いやり運転の推進による交通安全対策

Q 交流人口増加に伴い交通事故増加が懸念される。レンタカー事業者等を通じ、思いやり運転の取り組みを市内外に発信してはどうか。

A 思いやり運転の推進は、交通事故防止を目的に平成24年から取り組んでいる。今後、レンタカー事業者等と連携し、思いやり運転の取り組みを市内外へ発信しながら、運転手の交通マナーのさらなる向上を図り、安全で快適な交通社会の実現に努めていく。



佐野 淳祥
(緑水会)



市役所建て替えにおける立体駐車場整備

Q 50億円をかける立体駐車場を建設するにあたって、詳細な現状の実証データもなく発表し、議論することは正しいやり方なのか。

A 現状の分散している施設の利用状況を考慮した上で、ピーク時の利用台数等を割り出すことは非常に困難であり、仮に詳細なデータを集積する場合、各駐車場に長い月日をかけ、多くの人員を配置し分単位で状況を把握する必要があり、調査に要する費用も膨大となる。



駐車場240台の計算式数値の根拠

Q 滞留時間20分、窓口利用0.9%としているが、DXが導入される前の数値と思われる。計算利用したこの数値はいつの時代のものか。

A 今でも多くの自治体が参考とする昭和の論文を引用しているが、現状、市における業務の増加に加え、自動車での来庁者も増えていることを考慮し、DX技術の進展や人口減少なども加味して、駐車場の必要台数を設定した。

他の質問事項 「#不登校は不幸じゃない」について



弓場 重明
(維新と無所属の会)



三島駅南口東街区再開発事業の状況

Q 再開発追加工事費の小出しは金銭感覚のまひを引き起こす。三島市として補助金等の負担がこれ以上ないとの認識でよいか何う。

A 補助金については費用便益比に基づき上限を設定しており、補助制度の変更等がない限り、補助金額の増額は想定していない。立体駐車場の取得に係る市の負担についても、権利変換計画の認可後、議会に諮った上で契約することで金額が確定する。

新庁舎整備地

Q 新庁舎整備資料では、両候補地の建設費の差はほとんど無く、LCC概算の差のみ際立つ。市民判断をミスリードするのでは。見解を何う。

A 概算LCCの算定は、学識経験者や公的団体等の代表者で構成する新庁舎整備検討委員会では要望があったことや、国土交通省監修の文献において、基本構想や基本計画の策定段階では整備地や規模の検討材料として必要とされていることから資料掲載した。



土屋 利絵
(改革みしま)



ひきこもりの当事者・ご家族への支援

Q 生活支援センターで相談や家庭訪問にも対応できる、ひきこもり支援を専門とするスタッフの配置の可能性について何う。

A 生活支援センターでは、住居や就労、家計など生活全般にわたる相談に対し、個々の状況に応じた支援をしている。ひきこもり相談スタッフの配置にあたっては、厚生労働省の補助メニューを活用することにより、相談体制の強化を目指して検討を進めていく。



三島駅南口東街区再開発事業

Q 三島駅南口東街区再開発事業のタワー棟4階部分に、順天堂病院の高度医療が入る可能性があるとの報道があったが、進捗状況を何う。

A タワー棟4階の医療機能について具体的に説明できる段階ではないが、1フロアを一括で利用する形態に変更されており、事業関係者の協議は継続的に行われている。引き続き、三島市医師会との意思疎通を図りつつ導入機能の検討を進めていく。